

## ～東日本大震災から10年～

### 酒田市役所にて「みなとのパネル展」を開催します

東日本大震災から10年という節目を迎え、震災の教訓を忘れず次の世代へと語り継いでいくため、「みなと」での災害発生時から航路啓開、施設復旧完了までを改めて紹介するパネル展を酒田市役所で開催いたします。

- 開催期間 令和3年3月8日(月)～3月15日(月)
- 開催場所 酒田市役所1階 フリースペース  
(酒田市本町二丁目2番45号) ※別紙地図参照
- 開催時間 8:30～17:15
- 展示内容
  - ・東日本大震災の記憶をいつまでも忘れない。  
(地震発生、津波来襲。一刻も早く。役割。復旧へ急げ。など)
  - ・青森県の港湾、岩手県の港湾、宮城県の港湾、福島県の港湾における被災状況、復興への貢献、復興・賑わいへの再興について
  - ・東日本大震災時における酒田市役所の支援 等々
- 主催
  - ・国土交通省 東北地方整備局 酒田港湾事務所
  - ・酒田市地域創生部 商港港湾課 港湾振興室
  - ・(一社)日本埋立浚渫協会 東北支部
- 備考
  - ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、マスク着用・ソーシャルディスタンスを保ちながらご覧ください。

発表記者会：酒田記者クラブ

【問い合わせ先】国土交通省 東北地方整備局 酒田港湾事務所  
電話：0234(33)6314  
企画調整課 早川・阿部・舘山  
酒田市地域創生部 商港港湾課  
電話：0234(26)5758  
港湾振興室 千葉・佐藤

●会場位置図



出典：地理院地図に所在地等を追記して掲載

●展示するパネルのイメージ

### 東日本太平洋沿岸 巨大津波襲来。

観測史上最大の津波が沿岸地域を襲った。

東北地方を襲った津波は、北海道・東北・関東地方太平洋沿岸に巨大津波が押し寄せた。沿岸部には最大10m以上に達し、津波の被害をもたらした。その後の調査で、海岸の地形や波の形状などによって高波の高さはかなり、被害状況も異なる。

調査をまとめた高さでは、松手海岸で最大34.7mを上回る、観測史上最大の記録となった。

津波被害		津波の襲来高さ	
八戸 (津波) 9.2m	大船渡 (津波) 7.2m	宮古港 (津波) 26.21m	松石港 (津波) 20.48m
大船渡 (津波) 7.2m	青森 (津波) 8.2m	大船渡港 (津波) 31.82m	津波高 (津波) 22.18m
大船渡 (津波) 7.2m	大船渡 (津波) 7.2m	津波高 (津波) 22.07m	津波高 (津波) 20.48m
大船渡 (津波) 7.2m	大船渡 (津波) 7.2m	津波高 (津波) 21.202m	津波高 (津波) 21.202m
大船渡 (津波) 7.2m	大船渡 (津波) 7.2m	津波高 (津波) 21.202m	津波高 (津波) 21.202m

### 3月23日(水)までに 主要10港、接岸可能。

被災3日後から、港湾内の障害物を取り除く航路啓開を開始。

3月13日夕刻の津波で、港内の障害物を取り除く航路啓開を開始。まずは出入コンテナヤードで、主要なコンテナヤードの復旧作業が開始された。

船舶への被害も一先、宮古港、松石港、そして東北最大の港湾である仙台港で発生して以降、その後の、3月14日の主要な港湾にも復旧された。被災3日後となる19日には、松石港に緊急復旧船が入港。23日までに緊急10港で、緊急の復旧が終了。海上からの輸送物資の搬入が可能となった。

また、宮古から11日ほどとなる21日には、仙台港にパイロタンカーの緊急搬入が完了し、燃料供給も確保された。

### 応急復旧により 海上物流回復。

被災港湾の取扱貨物量が、9月には対前年比70%まで回復。

電力供給に必要となる燃料、物資に欠かせない材料、設備をはじめとする被災後の復旧作業が急務となり、被災への海上輸送は極めて多い。応急復旧などもコンテナヤードで進められており、海上輸送は被災の生活や復旧と密接に関わっている。そのため、一足でも早い復旧作業の推進に向け、早急に対応が急務。被災から半年後の9月には、中継点にいた海上物流が回復した。